

INTER COOLER *Chemical Shine*
CS

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

LEGACY
BL5/BP5

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：SUBARU LEGACY
- 型 式：BL5/BP5
- エンジン：EJ20
- 年 式：2003年06月～
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Chemical Shine
- 製品番号：13113

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

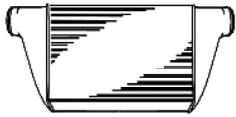
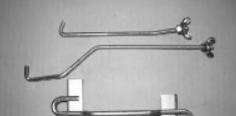
重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 純正のフォグランプは年式/形状により装着不可となる場合があります。予めご了承ください。
- 本製品の装着には弊社SUSPOWER AIR CLEANERが必要です。
- 本製品の装着にはバッテリーサイズの変更が必要となります。別途40B19Lサイズのバッテリーをご用意ください。（ターミナルの変更はありません）
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

取り付け作業の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

■ パーツリスト ■

インタークーラASSY	イテパイプ No.1	イテパイプ No.2	イテパイプ No.3
 1	 1	 1	 1
イテパイプ No.4	イテパイプ No.5	イテパイプ No.6	I/Cパイプ (Pパイプ)
 1	 1	 1	 1
I/Cパイプ (P)	パ化ガス No.1	パ化ガス No.2	パ化ガス No.3
 2	 1	 1	 1
パ化ガス No.4	別材 φ20-φ6	別材 φ20-φ8	バッテリー端子アダプタ
 1	 2	 1	 1
バッテリーホルム	シワホス φ70	ワグ φ70用	ボルト M6X25
 1	 6	 12	 2
ボルト M6X12	ボルト M6X20	ボルト M6X35	ナット M6
 10	 1	 1	 1
タレット 200mm	タレット 100mm		
 1	 1		

■ パーツリスト (AT車のみ使用) ■

オイルスプーン 2500mm

クワ

クワ 200mm



1



4



3

□組み付け作業手順□

■作業の方へお願い！

- ・作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

- ・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正の新品に交換して下さい。
- ・再使用する純正のガスケット類も、十分に点検して、不具合のある場合は純正の新品に交換して下さい。

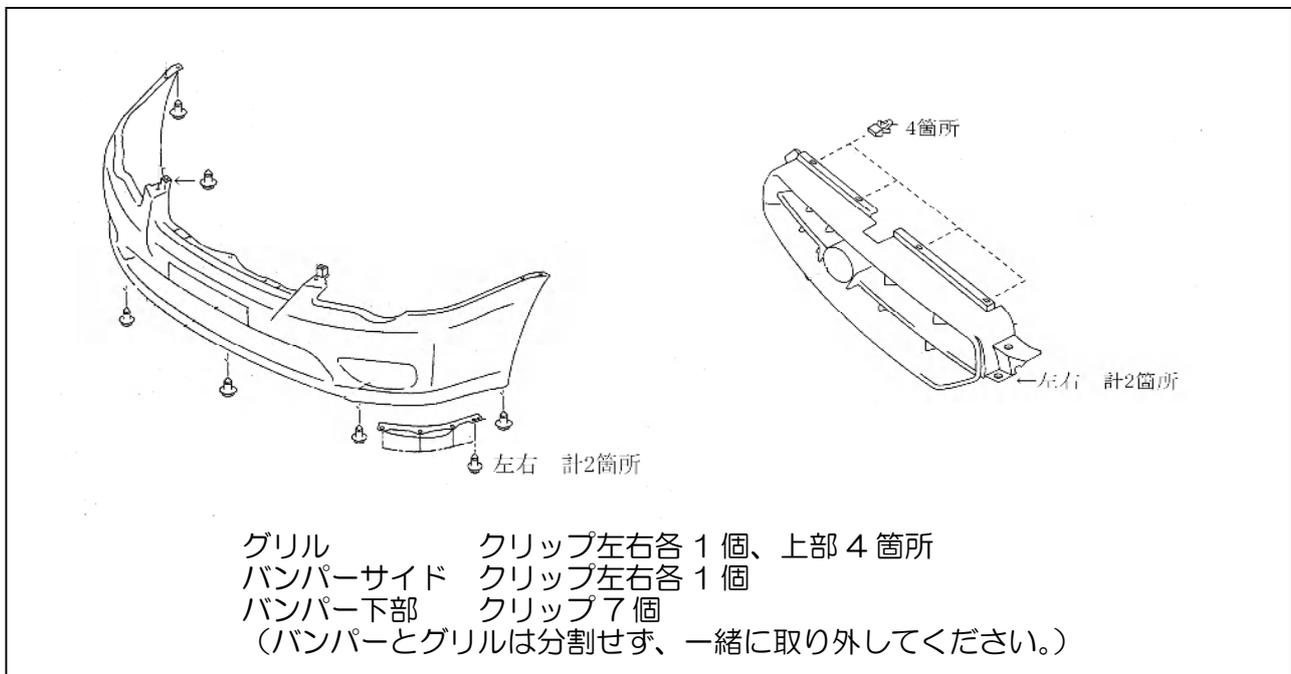
警告 作業中の怪我・火傷

- ・装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

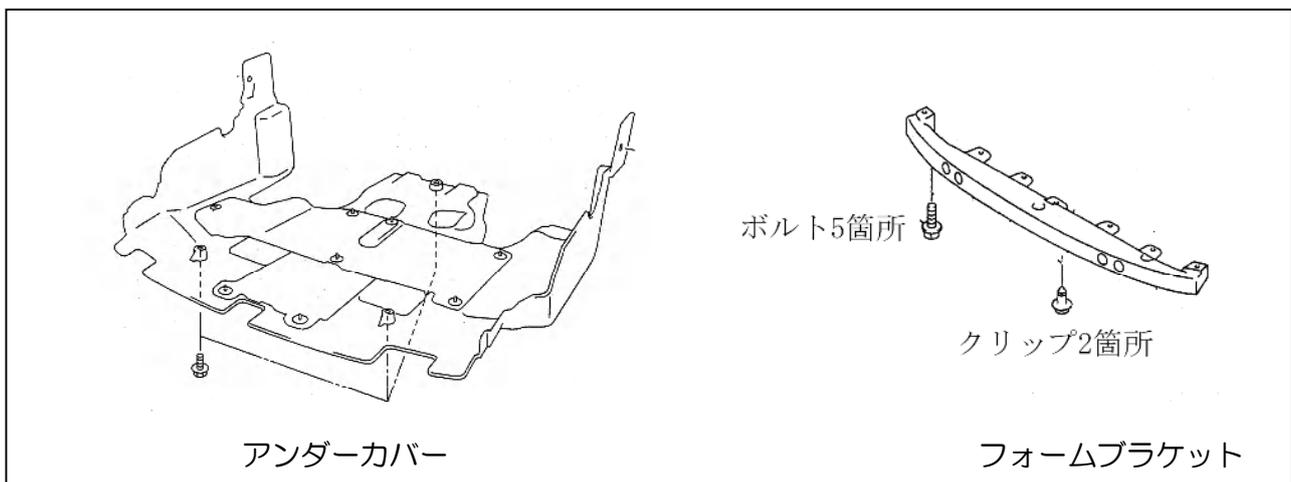
★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

■ノーマルパーツの取り外し■

1. エンジンルーム内のカバー類（エンジン・バッテリー・パワステオイル回り・インテークダクト）を取り外します。
2. バッテリーを車両より取り外します。
3. フロントバンパーを取り外します。
（フォグランプのコネクターがあります。）



4. バンパービーム・エネルギーアブソーバーフォーム・フォームブラケットを取り外します。
（フォームブラケット取り外しの為、アンダーカバーを取り外します。）



5. 純正エアクリナーケース、レゾネーターを取り外します。



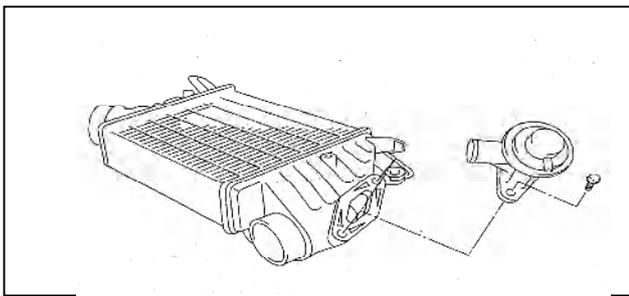
図 1



図 2

- ① エアクリナーボックス下部は10mmボルトで2ヶ所固定されています。(図1)
- ② エアクリナーボックス上部はブラケットに10mmナット1ヶ所で固定されています。(図2)

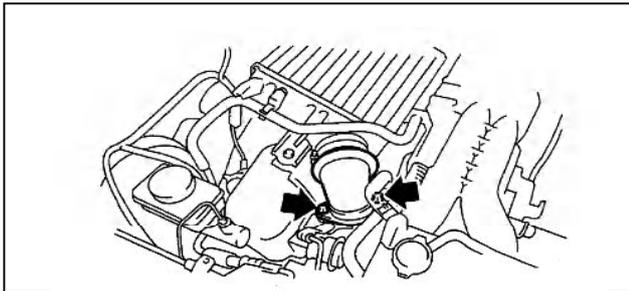
6. インタークーラーを取り外します。



- ① インタークーラー本体からバイパスバルブを取り外します。(M6 ボルト2箇所)

注意

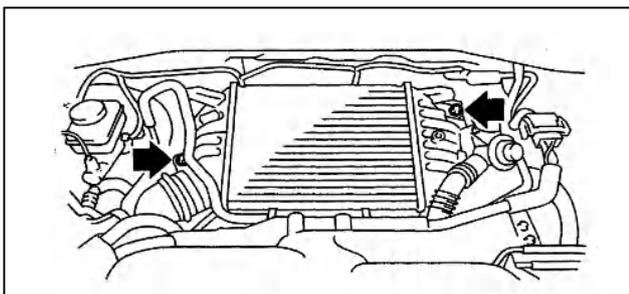
バイパスバルブはKIT内のパイプに取り付けます。(ボルトは再使用します。) パッキンを紛失しないよう注意して下さい。



- ② インテークダクトをターボチャージャーに固定しているボルトをはずします。(M8 ボルト2箇所)

注意

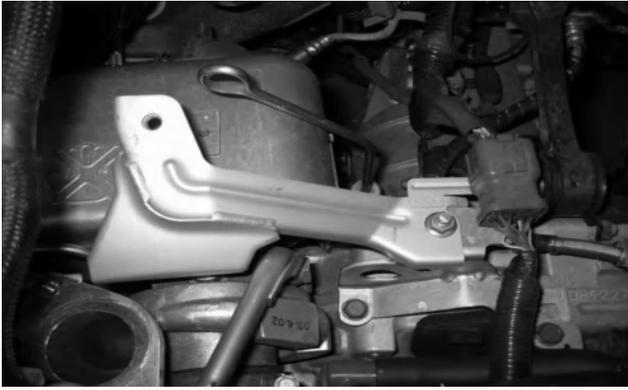
インテークダクトはKIT取付の際に使用します。パッキンを紛失しないよう注意して下さい。



- ③ インタークーラーをブラケットに固定しているボルトを取り外します。(M8 ボルト2箇所)



- ④ 車両を正面から見て右側のブラケットを取り外します。(M8 ボルト2個) インタークーラーを車両から取り外し、インテークダクトを取り外します。(クランプとボルトは再使用します。)



- ⑤車両左側のブラケットを取り外します。
(M8 ナット)
ブラケットに固定してあるハーネスを取り外してください。
取り外したハーネスはKIT パイプ取付時に干渉しない場所へ、タイラップ 200mm を使用して固定してください。

注意 ボルト、クリップ類は再使用します。紛失しないように注意してください。

■キットパーツ取り付け■

KIT の取付にあたって

- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着にはバッテリーサイズの変更が必要となります。別途 40B19L サイズのバッテリーをご用意ください。(ターミナルの変更はありません)
- 車両各部とのクリアランスを十分に確認の上、取付を行ってください。

※AT 車のみ

左フェンダー内に ATF フィルターがありフィルターへのパイピングがインタークーラーパイピングと干渉するため、純正のパイピングを取り外し、KIT 付属のホースに取り替えてください。インタークーラーパイプ取付時にホースの長さを調整してホースが圧迫されないよう注意して付属のクランプとタイラップを使用してホースを固定してください。

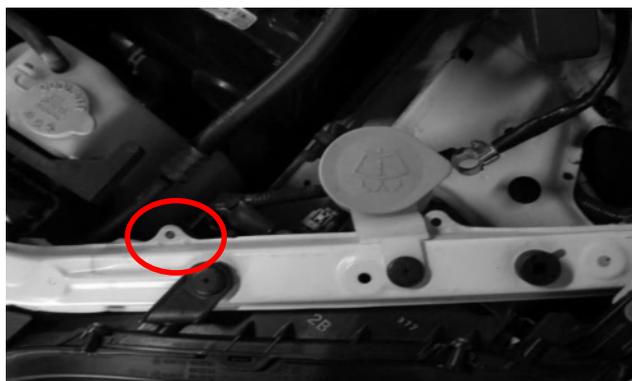


1. バッテリーの取付



- ①別途ご用意いただいたバッテリーにKIT 付属のバッテリー端子アダプターをハンマー等で叩いて圧入して下さい。
(プラス側・・・アダプター大)
(マイナス側・・・アダプター小)
- ②純正のバッテリートレイはパイピングに干渉する部分を切除して使用、もしくはトレイがない状態でバッテリーを乗せてください。
- ③KIT 付属のバッテリーフレームを使用してバッテリーを固定してください。

2. ウォッシャータンクノズルの移設



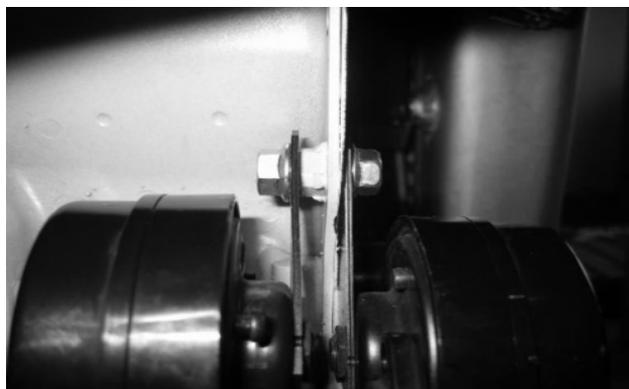
移設前



移設後

- ① ウォッシャータンクノズル固定のクリップを取り外してください。
- ② ノズルを図中○印の位置にタイラップ 100mm を使用して固定してください。

3. ホーンの移設



- ① ホーンを純正のステアから取り外し、図の位置へボルト（M8×20）とナット（M8）を使用して取付けてください。
- ② 純正のステアはボディより取り外してください。（パイピングステア取付のため。ステア取付けの為純正のボルト1本（M6）再使用します。）

※バンパー形状によっては上記のホーン取付位置の場合、フォグランプと干渉しバンパーが取付られない場合があります。
その場合は下記写真の位置に純正ボルトを使用して取付してください。
（インタークパイプ NO.4 の内側に取付ける形になります。）



4. インタークーラーコアの取付

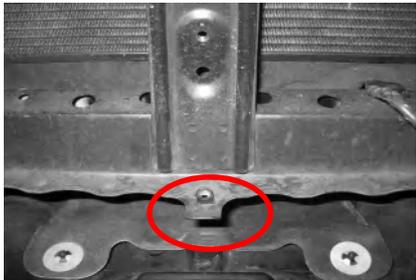


図 1

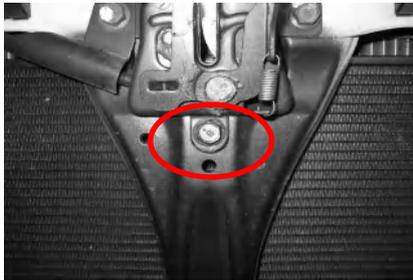


図 2

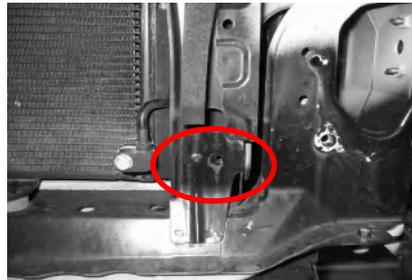
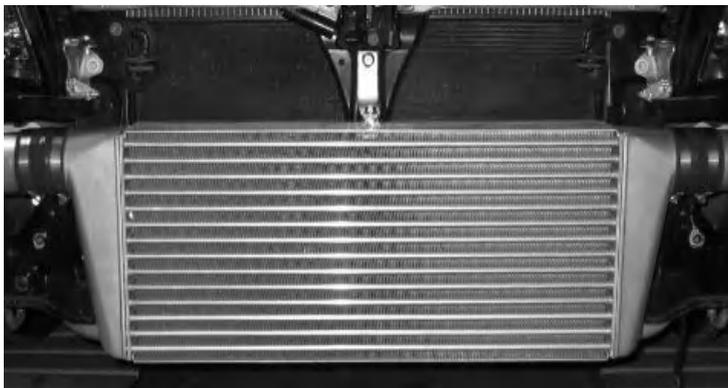


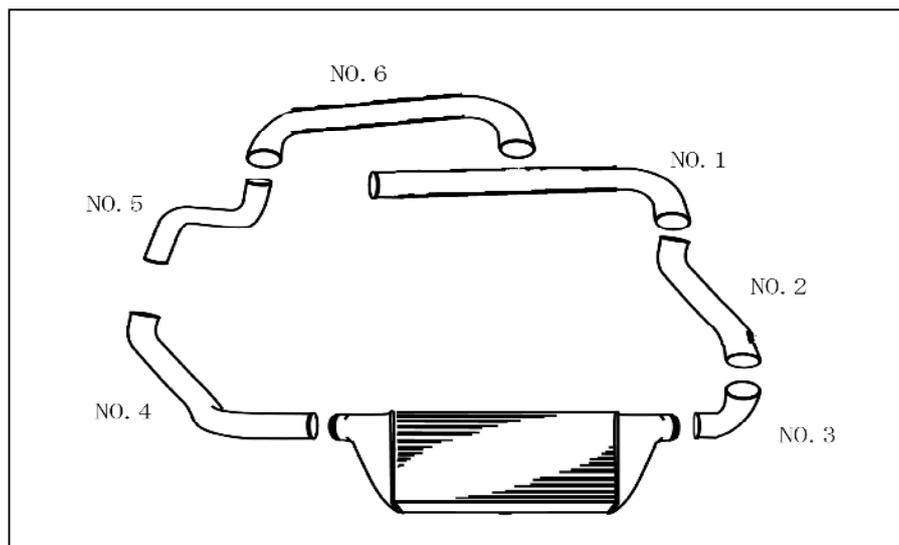
図 3

- ①インタークーラーの取付にあたって、図 1 の部分がコアに干渉するようであれば、あらかじめ切断、曲げ等の加工を行ってください。
- ②図 2 のボルトをはずし、 コアステー（アッパー） を共締めしてください。
- ③図 3 の部分に コアステー（ロア） を カラー（ $\phi 20-\phi 6$ ） と ボルト（M6×25）を使用して取り付けてください。
- ④コアの取付を行ってください。（仮止め）

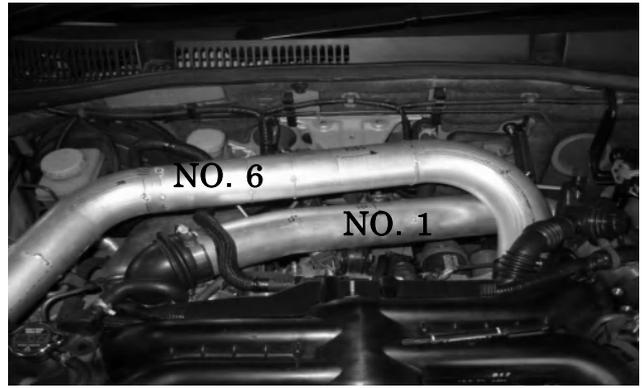


5. インテークパイプの取付

付属のパイプ No.1~No.6、クランプ及びシリコンホースを使用して、図のように配管して下さい。
※パイプには No.と方向（ターボ→スロットル）が記されたステッカーが貼ってあります。
※各パイプがボディ等に干渉しないよう、調整して下さい。
※パイプ及びパイピングステーは仮止めで取付を行い、各部のクリアランスを確認して下さい。
※ホコリや異物が入らないように気を付けて下さい。



NO. 1&NO. 6



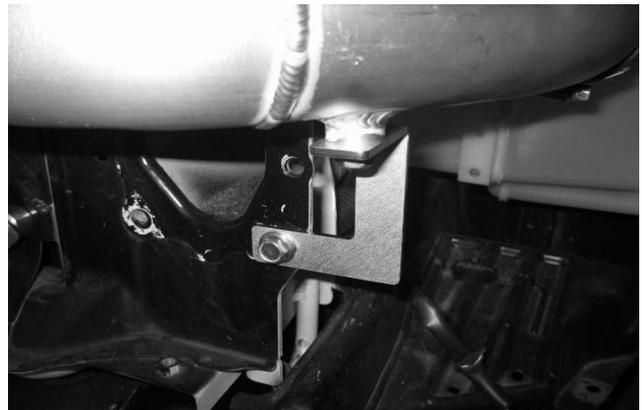
- ① 図中○部分のパイプを手で押し下げてパイプを曲げてください。
パイプを曲げて出来たスペースをNO. 1とNO. 2のパイプが通ります。
- ② NO. 1のパイプと取り外したインテークダクトを取付けてください。
インテークダクトのボルトとクランプは再使用します。
(インテークダクトボルト締め付けトルク=16N-m【1.6kgf-m】)
- ③ パイプNO. 6を取付けてください。

NO. 2



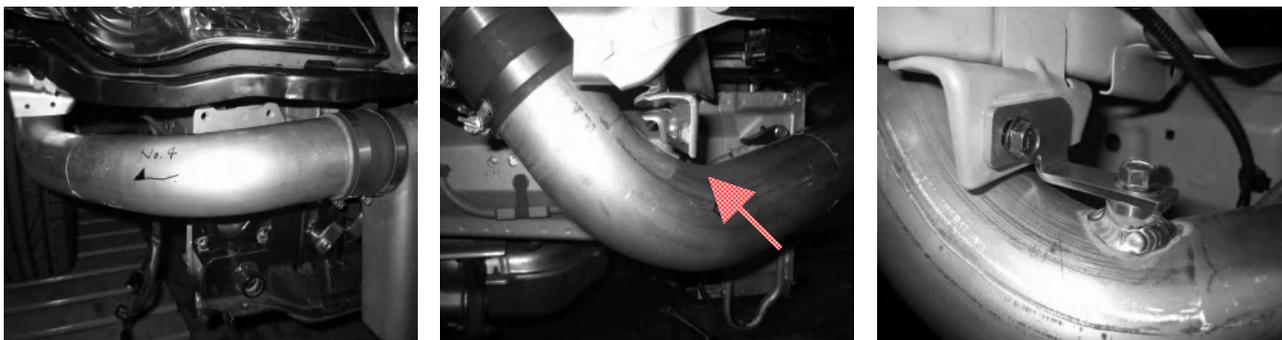
- ① パイプNO. 1とNO. 2は図中○印の位置を通します。
- ② バッテリー及びバッテリーステー、ウォッシャータンク、ヘッドライト下ステー類とのクリアランスに注意して下さい。

NO. 3



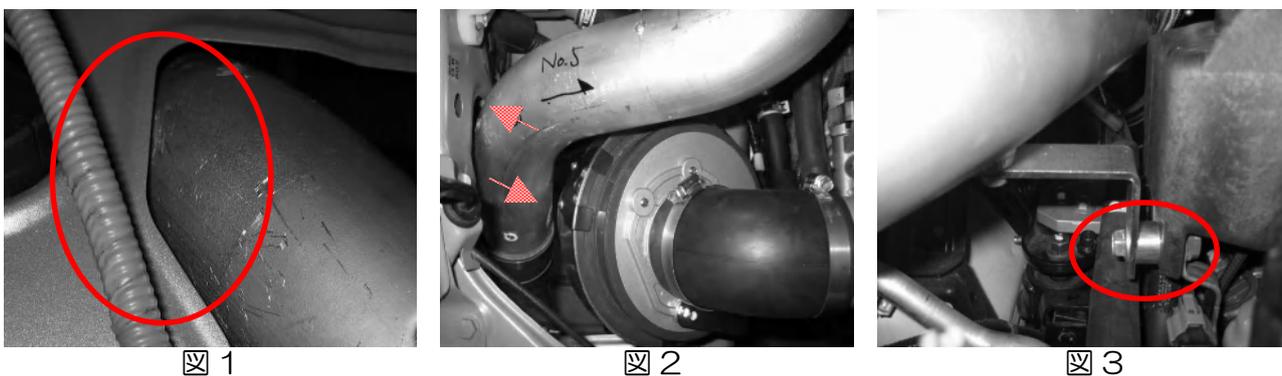
- ① ヘッドライト下ステー類とのクリアランスに注意して下さい。
- ② パイピングステーNO. 1とボルト (M8×12) を使用してパイプを仮止めして下さい。

NO. 4



- ①ライト下ステー類、図中矢印部分のクリアランスに注意して下さい。
- ②パイピングステーNO. 2 とボルト (M8×12 パイプ側)、純正ステーを固定していたボルト (M8 車両側) を使用してパイプを仮止めしてください。

NO. 5



- ①図 1、○部分のクリアランスが十分に確保できない場合は、切除もしくは緩衝材を巻くなどして干渉を防いでください。
- ②図 2、矢印部分のクリアランスに注意して下さい。
- ③SUS POWER の取付は、エルボホースとエアフロアダプターを SUS POWER 取説の指定量よりも多めに差し込んで、全長を若干短くする事でパイプとの干渉を防いでください。
- ④図 3、○部分の純正ボルトを取り外し、パイピングステーNO. 3 とカラー (φ20-φ8) とボルト (M8×35) を使用してパイプを仮止めしてください。(パイプ側ボルト M8×12)

NO. 6



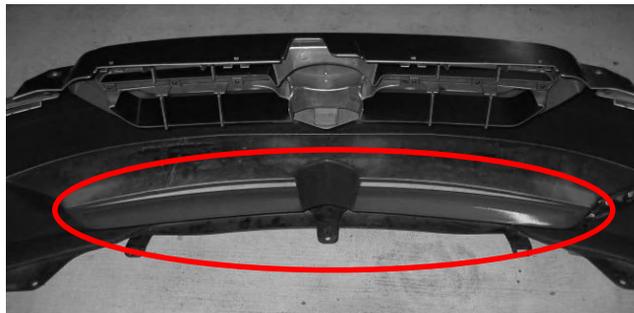
- ①パイプ NO. 6 と NO. 1 をパイピングステー NO. 4 とボルト (M8×12) を使用して仮止めしてください。
- ②NO. 6 のパイプにバイパスバルブを取付けます。バイパスバルブはホースに取付けた状態で、ホースを捻るようにしてフランジ部と合わせてください。バイパスバルブ取付のボルトは再使用します。

6. インテークパイプ、コアの本付け

KIT の取付が完了したら、クリアランスを確認・調整しながら本付けを行ってください。

7. バンパーの加工

例 1 (2.0GT spec.B バンパー)



(加工前)



(加工後)

例 2 (2.0GT バンパー)



(加工前)



(加工後)

フロントバンパーフェイスがインタークーラーASSYやインテークパイプに干渉しないように、フロントバンパーフェイスの干渉する部分をカット加工して下さい。
図中丸部が干渉する部位です。

※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。

■エンジンの始動にあたって■

- 必ず換気のよい場所で行ってください。
- コーナリングランプが点灯するか確認して下さい。
- 各部品はしっかりと固定されているか、エアリークはないか確認して下さい。
- インタークーラーの配管を間違えていないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか、確認して下さい。
- 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

以上でKITの取り付けは終了です。

■テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか、確認して下さい。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行ってください。

BLATZ